

### 外部評価導入を

京大植物園運営案

「考える会」が提出

京都大理学部附属植物園(京都市左京区)の運営

方針をめぐる問題で、川那部浩哉京大名誉教授らがつくる「京大植物園を考える会」は二十二日までに、独自の「管理運営に関する提案」をまとめ尾池和夫総長に提出した。

同会が十一月に同植物園八十周年記念シンポジウムで、研究者や市民から寄せられた意見をもとにまとめた。

提案書は、同植物園は樹齢六十年前後の木々で形成され成熟した状態とし、植物や昆虫、鳥類の重要な研究フィールドと指摘。教育面でも、教養課程の地学実習や測量実習などで重要な役割を果たしているという。その上で、今後も教育や研究で自由に利用できること

を希望、園を「切り売りしないで」と要望している。さらに、国立法人化に向け、植物園の管理についても外部の評価を受けるべきだなどとした。同会は提案書を理学研究所長らにも送った。